

# 「五感でつづる物語」 体験教室 「言葉の力」 体感編



<講師：本木洋子さん>

童話作家。絵本『よみがえれ、えりもの森』は「第50回・青少年読書感想文全国コンクール課題図書」に。ラクダに乗って一カ月砂漠を旅したり、モンゴルの草原を馬で駆けたり。タイでは象使いのトレーニングをうけ、アマチュア象使いの資格をとりました。「うごく童話作家」といわれています。

見えるものをみて 見えないものを感じる 想像して 創造しよう!

ところ 水俣市公民館2階 第1研修室・中尾山

とき 8月2日(金) 9～15時

<参加できる人>  
水俣市内の中学生  
限定20名

<参加費>  
無料

<持ってくるもの>  
きゅうり・お弁当・水筒  
筆記具 など

<日 程>  
09:00 水俣市公民館 集合  
本木先生のおはなし  
10:00 地図の探検  
11:30 昼食、移動(中尾山へ)  
12:30 物語づくり  
感じたことを言葉に!  
15:00 移動(公民館へ)、解散

<申込> 申込書に必要事項を記入のうえ7月5日(金)までに各自学校に提出してください

【お問い合わせ先】 水俣市立図書館 TEL0966(63)8401 FAX0966(84)9119

<< 申 込 書 >>

希望教室	【8/2】創作童話ワークショップ「五感でつづる物語」体験教室～「言葉の力」体感編～			
氏名		性別		生年月日(学年)
住所				連絡先

# —原風景ってなに？—

水俣川の源流で 県境の亀嶺峠で  
グリーンスポーツみなまたの海と森で  
五感をつかって感じるものはなに？  
見えるものの もっと奥で感じるものはなに？  
九州山地の中の 山と川と海があるまちで  
心のよりどころを  
自分の存在をたしがめられるところを  
探してみよう！

「ふるさとってなに」  
井泉小学校 五年 尾上 芽衣

ふるさとって何なんだろう  
わたしのふるすとはどこかな  
おばあちゃんちかな  
学校かな

ふるさとって何だろう  
おもひろい所  
たのしい所  
みどりがいっぱいある所

「ふるさと」  
その言葉を聞くと 心がほっとする  
だから ふるさとって  
心の中にある帰りたいって思う場所だと思ふ

ふるさとのことを  
お父さんは 生まれた町  
お母さんは この家って言った  
わたしは お父さんとおなじ  
生まれ育った羽生の町だと思った

この先 子どもができたら  
教えてあげたい  
お父さんと お母さんが  
わたしにふるさとの事を  
教えてくれたように